

ああ担いで往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝

ただいま 3年生 模擬面接実施中



現在、商業科の先生方が分担して民間就職を希望している生徒（国際流通科以外の生徒も含む）に対して、昼休みや放課後を中心に練習を行っています。

入退室や服装などのマナーはできてあたり前ですが、志望理由・自己PRなどの受け答えなどが自然にこなせるまでには、それなりに時間がかかります。「文章に起こした想定問答を暗記して話す」のはナンセンス。相手の顔を見て、自分自身の言葉で話すことができなければい

けません。それができるまでは何度も繰り返し練習します。

面接練習の初期には「このような質問にはどのように答えるとよいか」といったいわゆる正解を求めがちです。しかし、商業科の教員の方から「こう聞かれたらこのように答えなさい」などとのアドバイスは致しません。（考え方や話し方などの表現についてはアドバイスしています。また、いわゆる正解のある答えも存在しますが、それは面接の本質を求めている質問ではないはずです。）なぜならば、想定問答集の解答例のような、いわゆる「正解」は一般的な正解例のひとつでしかなく、皆さんが様々な体験から導かれた自分だけの答え（＝自身の志望理由）とは異なるためです。

志望理由は オンリー・ワン でなきゃ！

自分の心にあるものを、具体的な言葉にして相手に伝えること。…なんだかプロポーズみたいですね。ですから、誰に聞いても同じような志望理由や自己PRであれば聞いている側（練習時は先生方、本番では企業の面接担当者）はつまらないものに感じますし、魅力を感じられません。自分自身の「オンリー・ワン」の志望理由を身につけましょう。

ひとり一人の（自分自身の）本当の意味での個性を発揮してください。それぞれの考え方や思いは同じではありませんし、長所もまたそれぞれ違います。面接官に、「あなた自身」をきちんと観ていただきましょう。

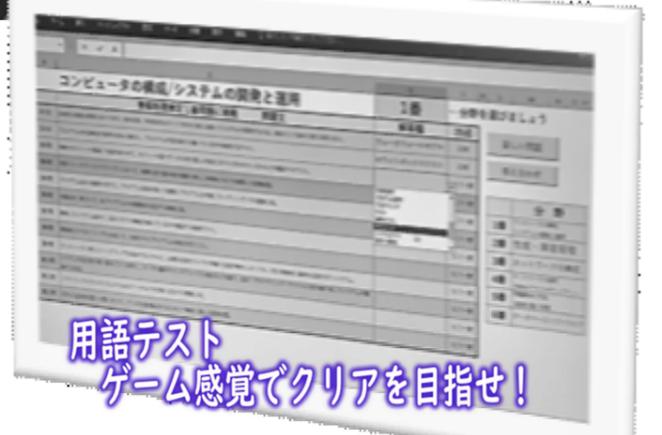
情報処理検定に向け気合い充分



1年生にとっては、商業系の検定試験としては初めての受験となるため、授業での取り組みも真剣そのもの。期末考査とその後の連休でPCを触る機会が減りますので、限られた授業の中では実技試験に向けた猛練習を最優先にしています。3級の全員合格を合い言葉に取り組んでいます。今後の2級・1級への挑戦のためにも、実技・筆記とも100点を目指して頑張りましょう。

2年生も考査前ではありますが、放課後に「特別講習」を大型教室にて実施しています。暑さ対策として2年1・2組の各教室から扇風機を移動してきております。

2年生の受験する級は「1級」であるため、筆記試験に向けた対策となります。年々情報処理検定1級の難易度が上がっている傾向があり合格は狭き門になりつつありますが、それだからこそ合格に価値があります。2年生には例年以上の結果を期待したいところです。



用語テスト
ゲーム感覚でクリアを目指せ！

暑い！講習↓

「先生！ ビ情1級の【6】まではどうにかりますが【7】に苦戦しています。どうしたらよいでしょう？(ToT)」

私もよくこの手の質問を受け付けますが、先生方を代表してお答えします。

「結論：作成条件・作成手順をよく読むこと！」

複雑な入れ子の関数を無理やり解読しようとせず、出題者はExcelを利用して、どんな処理をしようとしているのかを、正確に理解することです。日本語で書いてある指示をひとつひとつ理解していくと、出題者の意図が見えて、自然と正解も見えてくるものです。

